

立命館大学法科大学院

Ritsumeikan University  
School of Law

# Washington Seminar 2023 Summer Program

大学院生・弁護士向けの夏の短期海外プログラム

Program Schedule 2023.8.5 - 2023.8.23

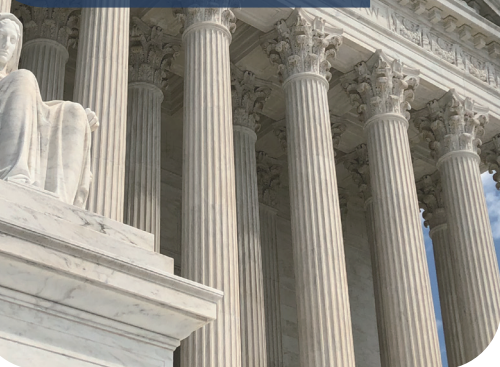
(Seminar Period 2023.8.7 - 2023.8.18)

Application Period 2023.4.5 - 2023.5.29

ワシントン・セミナーは、米国ワシントン D.C. にあるアメリカン大学ワシントン・カレッジ・オブ・ローで行われる法科大学院生・弁護士を対象としたセミナーです。米国法の講義だけでなく、米国の中枢機関である連邦議会、連邦最高裁、ローファーム（大規模法律弁護士）、NGOなどを訪ねて米国における法曹実務の現場を体験する2週間のプログラムです。

アメリカン大学ロースクール教授による講義とワシントン・セミナーならではの訪問先

## 充実の講義・魅力のある訪問先・イベント



### 憲法概論

#### Constitutional Law Overview

アメリカ合衆国憲法を基本づける立法、行政（大統領制）、司法の三権分立およびそのチェックアンドバランス機能について概要を学びます。

また、アメリカの特徴である連邦制についても学びます。

### 行政法

#### Administrative Law

大統領の下に置かれる各行政機関の行政活動はどのようなルールの下で行われ、そのチェックや規制はどのように行われているかを学びます。

### その他講義

#### Other Subjects

上記の講義の他、国際人権法や民事訴訟法、刑事訴訟法、ビジネスローなど多岐に渡る講義が組まれています。WCL の魅力ある教授陣がこのセミナーのためにアレンジされた講義を行い、どの講義も大変興味深いものになっています。

### 財産法

#### Property Law

米国における財産法の基礎を学びます。アメリカ私法における所有権の概念、物権変動や不動産の所有に関して、身近な例を用いながら説明してもらえます。また、迷惑行為や不法侵入などの不法行為についても学びます。

### 環境法

#### Environmental Law

判例の検討などを通して、EPA を中心に行われるアメリカの環境行政について学びます。講師は環境保護活動家としても著名な教授が務め、具体的な内容から関心を高めながら学びます。

講義

## 主な訪問先



### ● 合衆国連邦裁判所 / Supreme Court

合衆国連邦最高裁判所を訪問します。豪華な外観、細部にまでこだわった彫刻、ギリシャ神殿のような見事な建物で、一見の価値あります。隣接のアメリカ議会図書館も見学します。



### ● 合衆国連邦議会議事堂 / United States Congress

連邦議会議員会館にある元 WCL の教員であった下院議員の事務所を訪問し、そこで働くスタッフから実際の立法活動や議員の働きについて話を聞きます。また、スタッフの案内で連邦議会議事堂の内部を見学します。



### ● 国際 NGO / International NGO

アメリカでは NGO は若手弁護士就職先として一般的です。ここでは、特定のトピックに関わる様々な取り組みを担当し、大変充実した仕事となっているようです。例年、カリブ海でのサメの乱獲防止のために活動している NGO において、国際会議等でいかに NGO が中心的な役割を果たしているかという話を聞くことが出来ます。



### ● 刑務所 / Jail

アメリカの刑務所を参観します。現場で働くスタッフによる丁寧な案内を受けながら、施設の概要、運用の仕方、受刑者の処遇について学びます。日本の刑務所と比較したときに、その大きな違いを知ることが出来ます。



### ● 法律事務所 / Law Firm

数百人、あるいは 1000 人単位で世界中に事務所を有するような大規模な法律事務所を訪問します。誰もが聞いたことのある大企業を顧問先として抱え、具体的にそれらの企業の利益のためにどのような活動をしているかを勤務する弁護士から直接聞くことができる貴重な機会であり、毎年参加者からも好評を得ています。



※感染症予防のため、訪問先に変更が生じる場合があります。予めご了承ください。

参加しやすいフレキシブルなスケジュール・好評な唯一無二の体験

## スケジュール 参加者の体験記

## 🇺🇸1週間もしくは2週間のプログラム

- Ⓐ 全日程 (2週間プログラム) 8/5 ~ 8/23
- Ⓑ 前半のみ (1週間プログラム) 8/5 ~ 8/13
- Ⓒ 後半のみ (1週間プログラム) 8/13 ~ 8/23

- 参加期間をご相談に応じます。
- 大阪・東京発ワシントン D.C. ダレス空港着の直行便を手配します。現地合流やご自身による航空券の手配へのご要望も賜ります。(宿泊施設は、本学で手配させていただきます。)
- 参加日程によっては、アメリカン大学ロースクールの正規授業の見学が可能です。
- 期間中の土日を利用して、ニューヨークを含むワシントン D.C. 近郊地での観光をお楽しみください。(ワシントン D.C. からニューヨークへはバスで4~5時間、電車で3時間程です)

**Destination** プログラム期間中は、本学が手配するホテルに滞在します。通学および生活に便利だけでなく、安全面も十分に考慮したホテルを選定しています。

**Safety** 米国の首都であるワシントン DC は政府要人や観光客も多く、治安が極めて良い都市のひとつです。それでも、他の米国の都市と同様、人目が少ないエリアは治安が悪いところもあります。夜間の一人歩きを避けるなど、常に緊張感を持った行動を勧めています。

**English Level** 現地での授業は全て英語で行われます。したがって講義を理解し、発言する最低限の語学力が必要です。ただし、本プログラム参加者のみを対象とした講義になるため、話すスピードや使用する語彙も十分考慮されます。参加にあたって、語学スコア等の提出は不要です。

### 参加者の声

#### < 弁護士 >

授業を一言で言うと、とても面白く、諸事情でアメリカ留学できない私にとっては非常に意義深いものになりました。立命館大学で教えたことがある教授等も授業をされますので、日本人向けに英語をわかりやすく、話すスピードを落として授業をされる方もいらっしゃいました。あらかじめ予習をすれば授業の内容を予想することができること、しばらく授業を受けていればだんだん英語に慣れてくることから、授業についていくことができました。私はときどき国際企業法務をするので、今回アメリカ留学がどのようなものか知れたので、非常に満足できました。アメリカ企業と契約交渉をした時に依頼者からアメリカの陪審員裁判がどのようなものか聞かれた時、本で読んで知っていたので答えられましたが、実際に見て体験したうえで話すのとは雲泥の差だと思います。私がアメリカでしたかったことがすべて出来ましたので、本セミナーに非常に感謝しています。  
(2022年度参加)

#### < 弁護士 >

アメリカのロースクールの講義を受けることができ、その上、連邦最高裁判所や連邦議会を訪問できるとのことで、思い切って参加させていただきました。短い期間の中に、憲法、財産法、刑事訴訟法などの幅広い法分野の講義、そして、たくさんの訪問が予定されていて、大変充実したプログラムでした。法律事務所のほか、連邦議会図書館、Defenders of Wildlife(環境保護団体)など、様々な場所で活躍している弁護士の方々から話を聞く機会があり、アメリカでの弁護士の活躍の幅広さに刺激を受けました。ワシントン・セミナーを通じて、普段の業務では難しい景観から視野を広げられたことは、今後の糧になると感じています。MLBで今年優勝したワシントン・ナショナルズの試合を観戦したこともいい思い出です。弁護士にとっても非常に貴重な経験となるプログラムだと思います。  
(2019年度参加)

#### < 大学院生 >

私はこのセミナーに参加して、日常生活では得られない貴重な経験をすることができました。私は、留学はおろか、海外旅行の経験すらなく、英会話能力についても特に自信はない状態で参加を決めました。そのため、英語での授業についていけるかが不安でしたが、WCLの先生方や、訪問で御世話になった方々は皆さんわかりやすく講義をして下さる上、こちらの疑問も丁寧にき取って下さるので、支障なく学びを進めることができました。また、他の参加者の皆さんと、二週間以上にわたって共に過ごすため交友関係を広げることもできました。これまでの大学生活などで留学等の経験がない方にこそおすすめできるセミナーになっていると思いますので、少しでも興味があれば、不安があっても参加することをおすすめします。  
(2022年度参加 浦野)

美しい数々の建造物をお楽しみいただけます。

本セミナーが参加者の更なるキャリア形成に繋がっています  
これまでの参加実績

## ● セミナー修了後の参加者のキャリア実績

- ✓ 官公庁国際部門への出向（2022年度参加弁護士）
- ✓ 海外の法律事務所への派遣
- ✓ LLM への進学

Latest News!!



## ● 参加者数

2015年より**弁護士**の方にもご参加いただいています。  
初回開催 2005年から統計 100名を超える方々の参加実績があります。  
2015年度より学生のみならず弁護士の皆様にもご参加いただいています。

過年度参加者数				
年度	大学院生	弁護士	修了生	年度別合計
2015	4	3		7
2016	2	5		7
2017	3	1	1	5
2018	7	4	1	12
2019	11	4		15
2020	新型コロナウイルスの影響により中止			
2021	新型コロナウイルスの影響により中止			
2022	3	2		5

法科大学院生の受講登録、弁護士・修了生向けの1週間・2週間プログラムのご案内  
申込方法・受講料・費用・キャンセルについて

### 受講登録

#### 大学院生：

「外国法務演習Ⅰ」（2単位）と「外国法務演習Ⅱ」（翌年の春セメスター・2単位）とに分かれており、ⅠからⅡの順に受講します。「外国法務演習Ⅰ」の受講登録者は、8月にワシントン・セミナーに参加し、なおかつ事前事後の授業およびガイダンスにも参加します。Ⅰの受講者は引き続き、次年度の春セメスターに「外国法務演習Ⅱ」の受講が推奨されており、実際にアメリカで学んだ内容を各自でさらに理解を深めます。なお、受講者には、春学期にアメリカン大学ロースクールより招聘されます客員教員の「英米法基礎」科目の受講を強く推奨しています。

### 申込み方法

#### 弁護士・修了生：

参加ご希望の方は、4月10日以降、大学院 HP から又は左記 QR コード読み取りから、申込フォームに必要事項をご記入の上お申込みください。お申込みを確認次第、メールにてご連絡させていただきます。



### 参加費

#### 大学院生：

「外国法務演習Ⅰ(ワシントン・セミナー)」受講者は右記通り、大学院生対象の奨学金支給後の金額を納入期日（例年6月末頃）までに、100円未満切り上げた日本円にてお振込みいただけます。

#### 弁護士・修了生：

2週間参加と1週間参加をお選びいただき、右記の参加費合計金額の100円未満を切り上げた金額を納入期日（例年6月末頃）日本円にてお振込みいただけます。

#### <2022年度参加費（参考例）>

※2022年度は多数の外的要因により例年より20万円ほど増額となりました。

全 日 程 士	航空運賃・空港税	\$2,298
	宿泊費	\$2,773
	プログラム費	\$1,330
	合計額	約860,000円

大 学 院 生	航空運賃・空港税	\$2,298
	宿泊費	\$1,386
	プログラム費	\$1,880
	奨学金差引後合計額	約600,000円

1 週 間 士	航空運賃・空港税	\$2,298
	宿泊費	\$1,386
	プログラム費	\$1,160
	合計額	約650,000円

(1USD=135.44円)

### キャンセルポリシー

参加者個人の都合により生じた各キャンセル料は、以下のキャンセルポリシーに従って参加者ご本人にご負担いただけます。

- 航空券：発券してから出発日前日までの取消手数料（またはペナルティ）が発生します。キャンセルポリシーは事前の予告なく変更される場合があります。
- 宿泊費：宿泊ホテルが設定する取消料に準じます。
- プログラム費：以下の通り、キャンセルを申し出された日からキャンセル料が発生する場合があります。

派遣契約解除期日（取消日）	取消料
出発日の前日から起算してさかのぼって45日目にあたる日以前に取り消した場合	無料
出発日の前日から起算してさかのぼって23日目にあたる日以降に取り消した場合	プログラム費の50%
出発当日に取消し、または連絡なしノースhowの場合	プログラム費の100%



お問合せ・お申込み

立命館大学大学院  
法務研究科（法科大学院）  
朱雀独立研究科事務室

〒604-8520  
京都市中京区西ノ京朱雀町1番地  
TEL：075-813-8270  
Email：psstaff1@st.ritsume.ac.jp  
rits-ls@st.ritsume.ac.jp  
http://www.ritsume.ac.jp/lawschool/

AMERICAN UNIVERSITY  
WASHINGTON  
COLLEGE OF LAW

TOP GLOBAL  
UNIVERSITY JAPAN